

③ 認定社会福祉士全体の今後（将来）についての期待

＜結果＞

今後（将来）についての期待として一番多いのは、「社会・地域・他機関からの評価が高まること」であった。続いて「職場内での評価が高まること」「倫理意識が高まること」が続いている。

1. クライアント等からの評価が高まること	2. 社会・地域・他機関からの評価が高まること	3. 職場内での評価が高まること	4. 倫理意識が高まること
5. 知識が豊富になること	6. 技術が高まること	7. 組織又は人の調整力が高まること	8. 人脈又はネットワークが密になること
9. リーダーシップが発揮できること	10. 給与・収入が増えること	11. 仕事の依頼が増えること	12. より専門的な業務を任されること
13. その他（ ）	14. とくに何も期待していなかった		

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1 位	43	130	50	59	39	48	29	32	30	50	31	43
2 位	42	52	63	32	35	37	24	32	30	38	36	34
3 位	42	27	43	36	39	30	14	24	19	32	25	35
4 位	22	25	17	25	19	36	27	26	17	32	16	26
5 位	27	16	18	25	21	26	26	38	23	33	21	41

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 位	215	650	250	295	195	240	145	160	150	250	155	215	0	0
2 位	168	208	252	128	140	148	96	128	120	152	144	136	0	0
3 位	126	81	129	108	117	90	42	72	57	96	75	105	0	0
4 位	44	50	34	50	38	72	54	52	34	64	32	52	0	0
5 位	27	16	18	25	21	26	26	38	23	33	21	41	0	0
合計	580	1005	683	606	511	576	363	450	384	595	427	549	0	0
順位	5	1	2	3	8	6	12	9	11	4	10	7		
	2268			1693			1197			1571				
	外的評価期待			内的能力向上期待			対外的能力発揮期待			実質的利益期待				

第三章認定社会福祉士の「資質」・「能力」の自己評価と「役割」

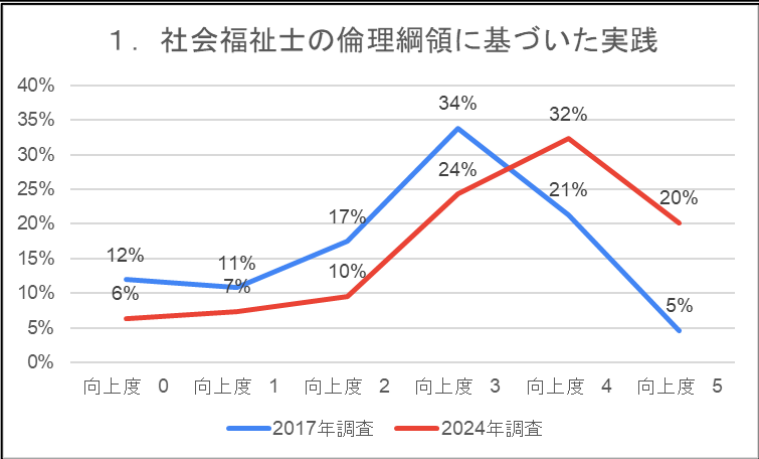
調査項目の大項目Ⅲについては、①の設問では、認定社会福祉士の「資質」や「能力」が、認定前と現時点とではどの程度向上したと感じているかの自己評価について、②の設問では、認定社会福祉士が担うべきとされている「役割」について、現時点でその「役割」を担っているか、について確認しました。

Ⅲ. 認定社会福祉士が有するべき「資質」や「能力」、また、認定社会福祉士が担うべき「役割」について。

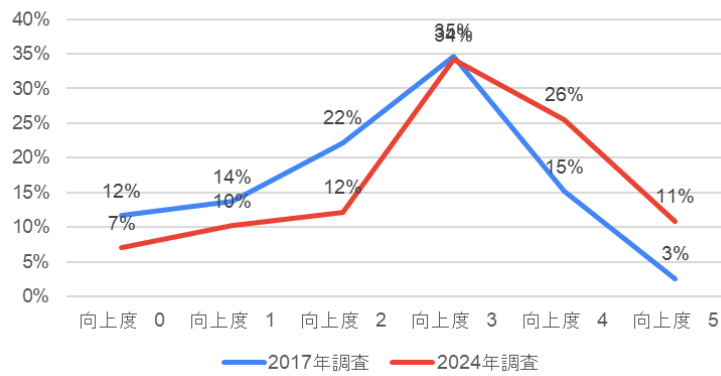
① 認定社会福祉士が有するものとされている「資質」や「能力」について、認定を受ける前と現時点とを比較して、どの程度向上したか。

＜結果＞

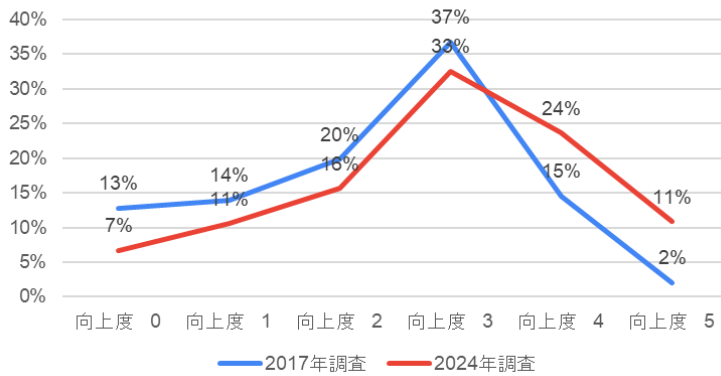
2017 年調査時と比較したところ、全体的に「資質」や「能力」、また、認定社会福祉士が担うべき「役割」について向上したと感じている者の割合が高くなった。



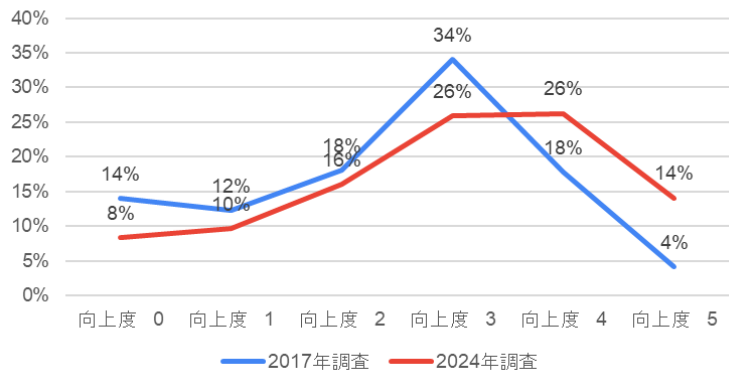
2. 高度な専門知識を用いた実践



3. 熟練した技術を用いた実践



4. 他職種と連携した実践



5. 地域福祉の増進に寄与する実践

